

二期会 2010/11 SEASON
ゴールデン
コンサート
in
津田ホール
VOL.32

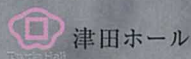
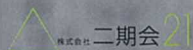
今、届けたいメッセージ

秋葉京子

MEZZOSOPRANO

深く芳醇な響き

主催



協賛

Calbee カルビー株式会社

PROGRAM

ロベルト・シューマン

胡桃の木

蓮の花

東方の薔薇より

君は花のよう

グスタフ・マーラー

「リュッケルトの詩による5つの歌」

私はほのかな香りをかいだ

美しさゆえに愛するのなら

私の歌を覗き見しないで

私はこの世に忘れられ

真夜中に

リヒャルト・シュトラウス

夜

万霊節

いこえ、私の魂よ

明日!

たそがれの夢

愛を抱いて

解き放たれて ほか

2011年6月16日[木]

19:00開演 18:30開場

安井耕一 PIANO

会場

津田ホール JR千駄ヶ谷駅前・都営地下鉄大江戸線国立競技場駅A4出口前

チケット料金(全自由席・税込)1回券以外は二期会チケットセンターのみ販売

1回券4,000円 二期会オケラ愛好会割引あり

学生券2,500円 各回10枚限定 車椅子席2,500円 同伴者1名まで同額

チケット販売

津田ホール03-3402-1851

チケット販売・お問合せ

二期会チケットセンター03-3796-1831 平日10:00-18:00 土10:00-15:00 日祝・休

制作

株式会社二期会21 <http://www.nikikai21.net/>

※当演奏会は、3月26日(土)より日程を変更して開催いたします。

二期会 ゴールデン コンサート in 津田ホール

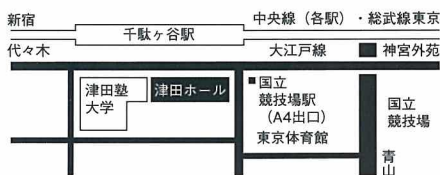
2010/11 SEASON

今、届けたいメッセージ

二期会一押しアーティストが真剣勝負で挑む
二期会ゴールデンコンサートin津田ホール
今シーズンも芸術的個性豊かな歌手が登場します!

歌うことにこめたアーティストのメッセージが
コンサートをとおして、みなさまに届きますように

◆津田ホールまでのご案内◆



〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24 TEL.03-3402-1851
JR千駄ヶ谷駅前・都営地下鉄大江戸線国立競技場駅A4出口前
◇駐車場はご利用いただけません。

※やむを得ぬ事情により出演者・演奏内容が一部変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

ARTIST PROFILE

VOL.32

秋葉京子 KYOKO AKIBA

MEZZOSOPRANO

深々とした円熟の歌唱で魅了する国際派メゾソプラノ

千葉市出身。東京芸術大学卒業。同大学院修了。大学院在学中に二期会オペラ『リゴレット』でデビュー。翌年、文化庁主催『カルメン』タイトルロールを歌い、直後ドイツ・ケルン国立音楽大学に留学。同大学を首席で卒業。在学中にゲルゼンキルヒェン歌劇場に客演したのを皮切りに、以後ブラウンシュヴァイク国立歌劇場、オルデンブルグ国立歌劇場、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州立フレンスブルグ歌劇場等で、第一メゾソプラノ歌手として専属契約し、通算20余年のキャリアを積み1000回公演を達成した。

レパートリーには『フィガロの結婚』、『コジ・ファン・トゥッテ』をはじめとして、『ナクソス島のアリアドネ』、『サロメ』、『トリスタンとイゾルデ』、『タンホイザー』等のドイツオペラ、また『リゴレット』、『ドン・カルロ』、『仮面舞踏会』等のイタリアオペラ、また『利口な子狐の物語』、『イーゴリ公』等東欧・ロシア・オペラまで幅広く、その数は50を超える。特に日本人として初めて抜擢された『カルメン』タイトルロールは大成功を取め、たびたび上演された。メゾソプラノからコントラルトまでの深い充実した響きを持った歌手として、ドイツのオペラ誌でも度々高い評価を受けている。

また、大学在学中より開始したコンサート歌手としての活動は、滞独中も継続し、N響、新日本フィル、東京交響楽団、東京都交響楽団等主要オーケストラに度々招かれ、パッハ「マタイ受難曲」、ベートーヴェン「第九」、「荘厳ミサ」、モーツァルト及びヴェルディの「レクイエム」、ブラームス「アルト・ラプソディ」、マーラー「嘆きの歌」、「子供の不思議な角笛」、「千人の交響曲」、「大地の歌」、ワーグナー「神々の黄昏」等の曲で秋山和慶、小澤征爾、朝比

奈隆、若杉弘、山田一雄、渡邊暁雄、小林研一郎、高関健、ベルティニーニ、ヴァルベルク、ロストロポフ・ヴィッチ等、第一線の指揮者のもと、作品に対する真摯な姿勢と充実した演奏で賞賛されている。ドイツ国内でも、ボンで開催されたヘンツェ音楽祭、ボン音楽祭、ハンブルグ、エッセン等での「第九」、また、数多くの教会コンサート等でソリストとして活躍している。最近では、国立大学オーケストラ、準・メルクル指揮でマーラー交響曲第3番のアルト・ソロをつとめ、またカベラ・アウローラクニタチ、前田昭雄指揮でハイドンの独唱カンタータ「ああ、私の胸は騒ぎ」を日本初演しNHK BShiとBS2において度々放映されている。また、リサイタルも活発に開催し活動の場を広げている。国立音楽大学教授及び同大学院教授。日本カール・レーヴェ協会会員。二期会会員

安井耕一 KOUICHI YASUI PIANO

北海道札幌に生まれる。札幌南高等学校を経て東京芸術大学音楽学部ピアノ科を卒業。1977年～85年西ドイツに留学。ドイツ国立リューベック音楽大学でコンラート・ハンゼン教授に師事する。国家演奏家試験に合格し卒業、同大学で伴奏講師を勤める。帰国後、札幌と東京で毎年リサイタルを開催。またオーケストラとの共演、室内楽、歌曲伴奏など演奏活動を行う。93年～2007年東京芸術大学非常勤講師。01年より国立音楽大学非常勤講師、06年より国立音楽大学教授を勤める。

ピアノを横谷瑛司、水谷達夫、コンラート・ハンゼン 歌曲伴奏を戸田敏子、各氏に師事。



おいしい音は、
くらしの音楽。

耳にするだけで、
あ、おいしそう、って感じる音って、
ありますよね。
ステーキが焼ける音、
スープをコトコト煮込む音、
シャンパンのかすかに泡立つ音…。
くらはは、
おいしい音楽にあふれています。
サクッ、カリッ、バリバリッ…。
ほら、カルビーの音が
聞こえてきませんか。
帰ったら、
カルビーの楽しい演奏会が
待っていますよ。

カルビー株式会社